

三重県私費外国人留学生奨学金留学レポート

ヤン ヤンさん

三重大学教育学部大学院 教育研究科

2019年1月更新

・専攻している科目の学習内容について書いてください。

幼児期において自然とのかかわりは重要な意味を持つが、現代化や情報化とともに、中国でも日本でも、幼児が日常的に自然とのかかわる機会は減少しつつあります。無論、園庭内の自然環境も不十分であり、その代わりとして現代的で人工的な遊具が増えているのが実情でしょう。こうした状況にあたって、幼児期における自然とのかかわりを通じた認識と感性の育ちが、保育現場においてどのように保障されているのか明らかにすることが本研究の目的です。それにより、幼児期における自然とのかかわりの重要性を今一度喚起したいと考えます。

そこで本研究では、幼児期における自然とのかかわりの重要性について、日常の動物、植物、自然現象とのかかわりについて幅広く焦点を当て、認識だけでなく感性の育ちについても明らかにすることを目的とします。

・日本を留学先として選んだ理由は何ですか。

大学の時に、日本語を専攻として、勉強しました。さらに、大学3年生の時に、三重大学で1年間留学したことがあります。その時に、日本の綺麗さと日本人の優しさ、三重大学のよい学習雰囲気と先生の優しさ感動し、もう一度日本に留学したいと考えました。

また、旅行が好きな私としては日本全国を見に行きたかったが、一年間は誠に短く、残念な思いで中国に帰りました。したがって、この夢を実現するために、もう一度日本に来て留学をしています。

・留学後の日本の印象は、留学前と比べてどのように変わりましたか。

留学前、日本に対する印象は全部日本人の先生から、または本、資料、アニメ、ドラマなどからで、日本はただ自分のイメージの中で存在していました。その時には、日本は先進国だと分かったので、経済的には絶対に中国より強いと思います。この点は日本の公共施設でよく見られます。

そして、日本に来てから、日本人の優しさに驚き、感動しました。先生たちにしても、その他の日本人にしても、みんなが非常に優しいことに感動しました。それは私がもう一度日本に留学する一つの重要な原因です。

・出身地(気候、名所、名産、三重県からの行き方、三重県とのかかわり等)について
私は三重県について三重大学、伊勢神宮、松阪牛肉、伊賀忍者、伊勢エビなどよく知っています。正直に言うと、三重県は名古屋などの大都市と比べたら、田舎の感じをしていました。しかし、私と私の外国人の友だちは三重県を好んでいます。それは、三重県の自然も非常に豊かですし、静かですし、勉強としては非常にいい選択です。そして、三重県は文化が盛んな地域ですので(例えば伊賀忍者があります)、外国人に対して非常に魅力があります。また、三重県は名古屋、奈良、大阪に近く、交通も非常に便利です。外国人の私としては、三重県は生活しやすく、外国人にとってもいい選択だと考えます。

・前期に、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

中国と日本の友好交流活動ボランティアをしました。中国の交流団体は日本の三重県に訪れてきたときに、会場の飾り、カウンターの仕事、翻訳、通訳などのボランティアをしていました。

外国人リポーターをしました。外国人リポーターとして、三重県のいくつかの企業に対して取材をしました。そして、それについて自分の SNS に載せました。

三重県の災害時語学サポーター(中国語)養成研修に参加しました。災害発生後にボランティアとして中国人をどう援助するかについてよく勉強しました。

2018年10月更新

・あなたの留学の目的は何ですか。

私の留学目的は、三つあります。一つ目は、日本の幼児教育の知識と経験を勉強したいです。将来中国の幼児教育の専門学校の先生になりたく、日本で身につけたことを活かしたいです。

二つ目は、日本の文化を勉強したいです。日本の伝統的な文化に興味を持っているので、いろいろ体験してみたいです。

三つ目は、留学を通して中国にいる家族、友達に日本の良さを伝えたく、中日友好の懸け橋になりたいです。

・専攻している(する予定の)科目の学習内容について書いてください。

乳児期から児童期までの発達の理論や最新の治験を学び、実践に役立つ知識と技術を身につけます。また、乳児期から児童期にかけての心理学的プロセスについて、その古典的な理論から最新の知見までを学ぶとともに、保育・幼児教育実践、学校教育実践の現場における記録やエピソードを読み取りながら、実践への応用可能性についても考察を深めます。

・留学大学に入学するにあたり、どのような手続きやテストが必要でしたか。

三重大学の院生になる前に、半年の私費外国人研究生として三重大学で勉強しました。2016年度私費外国人研究生出願要領、私費外国人入学願書、研究計画書、支弁能力証明書、経費支弁書、指導教育内諾書、指導教員による所見書を三重大学に提出しました。

2017年2月に三重大学教育学部大学院教育研究科の試験を受け、4月に三重大学の院生になりました。

・現在の留学校に決めた一番の理由は何ですか。

大学三年生の時に、一応三重大学の教育学部で特別聴講生として一年間留学したことがあります。その時に、三重大学の先生の優しさ、三重大学の環境の良さに感動し、それがきっかけとなり、もう一度三重大学で勉強したいと願って、また三重大学に来て院生になりました。

・昨年度、あなたが関わった国際交流・貢献活動について教えてください(ボランティア活動など)。

中国と日本の友好交流活動ボランティアをしていました。中国の交流団体が日本の三重県を訪れてきた時に、会場の飾り、カウンターの仕事、翻訳、通訳などのボランティアをしていました。そういうボランティアの仕事を通して、自分が中国と自分の懸け橋になって誠に光栄なことだと感じます。